

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2019年 7月 31日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都千代田区大手町二丁目3番1号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本郵便株式会社 代表取締役社長 横山 邦男

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	日本郵便オリジナル環境マネジメント指針
適 用 範 囲	日本郵便株式会社 京都中央郵便局、京都郵便局
導 入 年 月 日	平成26 年 4月 1日
認 証 番 号	
基 本 方 針	環境に関する法規制、条例及び同意した各種協定等を遵守し、環境へ配慮した事業運営が企業の社会的責任であることを認識し、環境活動を推進・徹底する。省資源や省エネルギー、資源のリサイクル、排出ガスの削減などに取組む。地域社会における環境保護への取組に積極的に参加・支援していく。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	電力使用量の削減 2019年度3%の削減(対2018年度比) ガソリン使用量の削減 2019年度燃費1%以上向上(対2018年度比)
目標を達成するための取組の内容	電力 蛍光灯の闇引き、不要電灯の消灯、長時間使用しない機器の主電源オフ、空調温度設定の徹底、エレベーター利用の抑制 ガソリン使用量 エコ安全ドライブ、アイドリングストップ、タイヤの空気圧の適正値管理
目標を達成するための取組の進捗状況	各取組について、継続して実施中
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画通りに取り組むことができている。ただし、削減率、向上率ともに限界に近い状態になっており、今後更なる削減、向上を目指すには厳しい状況となっている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1年に1回確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、原則として四半期に1回の検討。また社内監査を実施し、評価反省を行っている。なお、前年度において、現行の目標及び取組内容により一定の成果が見られたことから、今年度も同一のシステムにより運用することとした。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。